



激励の手紙を読む小西楽歩ちゃん(中央)と父直樹さん、母レイ子さん

# 障害克服 ラブちゃん頑張れ

## 激励の手紙相次ぐ

### 来月、神戸で訓練説明会

頑張れ、ラブちゃん……。後天性の脳障害による全身マヒを、米国ファイラデルフィア、グレン・ドーマン博士の人間能力開発研究所の指導による猛訓練で克服した京都市西京区下津林、会社役員小西直樹さん(四二)の二女楽歩(らぶ)ちゃん(一〇)に、連日激励の電話や手紙が寄せられている。神戸市の同研究所ジャパンオフィスなどにも、同じような障害児を持つ全国の親たちから問い合わせが殺到、同オフィスは六月二十六日午後一時から、神戸市中央区三宮町、国際会館五階会議室で、小西さん父子も交え、交流会を兼ねた説明会を開くことにした。

メッセージは、家族ぐるみでの激しい訓練に耐え、明るく笑顔で努力する姿が本紙に紹介(五月九日)された翌日から、小西家や本紙に相次いで、「よく」まで努力したと感心しました」「かわいいたちの希望を象徴するようだ」——など、楽歩ちゃんあての便りだけでも千通以上

の母親からは「十二歳の長女が、いくら投棄されても少しも回復しない」など、さし迫った訴えや相談がほとんどで、「せひ楽歩ちゃんの訓練を見学させてほしい」との要望も多かった。

説明会は同オフィス代表の佐本進医師(五二)と小西さんが相談して決めた。当日はドーマン博士の理論について概要を説明したあと、楽歩ちゃんの訓練の経過をビデオで紹介。小西さんが、家族ぐるみでの取り組みについて経緯を発表する。

小西さんは「同じ悩みを持つ親同士で話し合い、訓練の厳しさと同時に、希望を捨てずにやるべきことがいかに大事かを知ってもらえれば……」と話している。

説明会は参加無料。問い合わせ、申し込みは、神戸市中央区三宮町一三の三、小林ビル六階同オフィス(電〇七八一三三一〇六八九)へ。